

◇中 村 利 昭 君

○議長（高橋 猛君） 次に、6番、中村利昭君の一般質問を許可いたします。中村利昭君、登壇願います。

（6番 中村利昭君 登壇）

○6番（中村利昭君） まずは町長の無投票当選、お喜び申し上げます。これから難題を一步一步前へ進めていけるようお願いいたします。

まだこのように言語が不十分であり、大変申しわけありませんが、最後までよろしく願います。最初に、美郷町活性化プロジェクトについてであります。

空き校舎活用による美郷町活性化プロジェクトで、これまで仙南東小学校を対象に議会とともに計画の内容を検討してきた農業宿泊施設利用から、急に内容が変わった計画案が11月の後半に発表されましたが、私は余りにも突然であり、おかしいと思っています。これは県との市町村未来づくり協働プログラムとしてタイアップしたアドバイザーによるものと思いますが、現在類似した建物がたくさん集まっているように思うし、民俗資料館や歴史、文化も活用した取り組みをするとあるが、このような施設であれば連日人の集まりやすい道の駅周辺か、後三年の駅の改修も現在進行中で今月中に完成を目指しているようではありますが、その鉄道や車で人が多く集まる場所にすべきと思います。もしも道の駅周辺に場所を考えるならば、横手市にも後三年の資料館に展示している展示物が半分ほどで、全部でない聞いております。それと、美郷町では横手市と後三年の合戦の文化にかかわる交流連携協定書も取り交わしているので、私は横手市と共同でやるつもりはないのかと思いますが、町長のお考えを伺います。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

美郷町活性化プロジェクトについてですが、空き校舎の活用につきましては議員もご存じのとおり平成22年5月に設置した学校再編による空き施設等活用住民検討委員会において検討し、政策等意見交換会で議員各位からもご意見をいただき、その上で町民各位からのパブリックコメント等を踏まえて計画を決定しております。その結果、仙南東小学校は公民館や総合体育館等との連携により活用幅の拡大が期待できることから宿泊交流施設として、また千畑南小学校は学友館や坂本東嶽邸等との連携により活用幅の拡大が期待できることから民俗資料等の展示収蔵施設として活用することになっているところです。なお、仙南東小学校につきましては町内の農家民泊

施設と連携を図りながら、農業体験の受け入れも視野に入れた宿泊交流施設として整理していることはこれまでと何ら変更なく、その方向で協議を進めておりますのでご理解をお願いいたします。さて、JR後三年駅や道の駅「雁の里せんなん」を活用した後三年合戦文化に対する取り組みですが、まずはJR後三年駅舎については先ほど行政報告でお話しさせていただきましたが町のギャラリー部分を併設して、ことし12月24日にオープニングセレモニーを行う予定です。ギャラリーにおいては、町の観光PRコーナーとして後三年合戦の歴史などの情報を発信していくこととしております。また、道の駅「雁の里せんなん」につきましては、現在横手市の後三年の駅金沢資料館の資料について、道の駅「雁の里せんなん」の曲がり屋で一定期間ですが特別展示できないか検討に入っているところです。今後課題等について詰めていきたいと考えております。

なお、横手市と結んだ後三年合戦に係る連携協定を踏まえ、JR後三年駅の竣工の式典にも横手市からご出席いただくよう調整しているところですので、今後も連携を強化しながら、美郷町の活性化に資してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）6番、中村利昭君の再質問を許可いたします。

○6番（中村利昭君） このような美郷の歴史、文化、風俗、習慣というのは各地区でそれぞれに特徴があるように思いますが、美郷は1つと思い、地区別に似通った建物があれば何となくまた私は昔に戻るような気がしてなりません。このような似通った建物が各地にたくさんあるとすれば、中央に1カ所の屋根の下に設けるべきであり、美郷は1つということであれば3地区のものをその中にやってもいいのではないかというふうに思っております。次世代にこのように負担にならないようにするべきと思いますが、私は旧仙南地区に当たって前あったようにフォーラムハウスの二の舞にならないのかと思い、内容をもっと詳しく検討したほうがいいのではないかというふうに思っております。その辺については町長はどのようなお考えでしょうか。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君） ただいまの再質問にお答えいたします。

今度整備したい千畑南小学校の展示施設につきましては、議員もご理解のとおり3地区にある歴史資料等を1カ所に集める発想であります。また、千畑南小学校の立地的な状況も決して美郷町内の端のほうにある場所ではございません。そうしたことから、類似施設をまとめるという発想の議員ご指摘と合致する考え方で整備することにぜひご理解をいただきたいと思っております。また、設置した施設が地域に愛され、またご来館の方に愛され、そしてその結果として永続する施設を

目指すのは当たり前でありますので、そうした考え方のもと整備に注力してまいりたいと考えております。

○議長（高橋 猛君） 再々質問ありますか。（「ありません」の声あり）

次の質問に移っていただきます。

○6番（中村利昭君） それでは、次の質問に入ります。

本庁舎の建設について。美郷町も合併して8年が過ぎ、北部地区、中央地区、南部地区、それぞれ改修が順調に進んでいるように思います。現在、旧千畑庁舎を本庁舎として使用していますが、いずれ形のあるものはある程度年月が過ぎれば壊れると思います。各地区に差別なくまちづくりをしています。町をつくる上で本庁舎をどの場所にするかでまちづくりのあり方が違ってくると思います。そろそろこの辺で本庁舎の予定場所、建物等を明示するということがこれからのまちづくりの大事なことではないかと思いますが、町長はどのように思っておりますか。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。本庁舎の建設についてですが、議員ご指摘のとおりまちづくりの拠点として役場庁舎の果たす役割は大きいものと私も認識しております。そうした観点では、本来的には広く町民が足を運びやすいような地理的な中央部に役場庁舎があることが望ましいことは、皆さんの共通理解であろうと思います。しかしながら、公共施設再編の検討に当たっては、財政の効率化の観点で使えるものは使い切る。無駄な投資を避ける観点で最も新しく大きい施設を活用する旨の基本方針で計画を策定し、現在に至っていることは議員もご存じのことと思います。改めてご理解をお願いいたします。

さて、現在の役場庁舎については建築が平成3年、第2庁舎が昭和60年の建築となっており、いずれも耐用年数50年の鉄筋コンクリート造の丈夫な建築物です。確かに合併8年が経過しているものの、まだまだ耐用年数のある丈夫な建築物が存在する状況で、遠い将来のことを現時点で明示することは見方によっては無責任発言となりますし、明示に伴う懸念も容易に想定されますので、現在何ら担保の持てないことは言うべきではないものと存じます。したがって、本庁舎の建設について言及する時期ではないことにご理解をお願いいたします。以上です。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、6番、中村利昭君の一般質問を終わります。